体育科　単元デザインシート		
単元名	学年	５・６学年
ボール運動「タグラグビー」	児童数	９名（5年生３名・6年生６名）
	授業者	廣岡　正樹

１　単元の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基本的なボール操作(パス)やボールを持たないときの動きを考え，ゲームをすることができる。	・タグラグビーの簡単な作戦を立てることができる。 ・自分のチームに応じためあてを立て，めあての達成のための工夫をしている。 ・作成を成功させるため，練習を工夫することができる。	・ゲームをするための役割分担をして，進んで取り組もうとする。 ・ルールやマナーを守り，ゲームを楽しもうとする。

２　単元における「学習課題」と「期待する子どもの姿」

【単元の学習課題】

ルールや作戦を工夫してタグラグビーをしよう！

【期待する子どもの姿】

簡単なルールを理解した上で，自ら攻め方，守り方などの作戦を考え，友達と協力しながら，マナーを守って，安全にタグラグビーを楽しむことができる子ども。

３　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた具体的な子どもの姿と手立て

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
見通しをもつ ねらいと道筋を理解し，学習の進め方に見通しをもつ。 ・ゲームの仕方について知り，学習の流れや学習方法について知る。 振り返って次へつなげる ねらいと道筋を理解し，次時の学習の進め方に見通しをもつ。 ・ゲームに振り返る時間を設定し，成果や課題に気付けるようにする。 ・ゲーム，話合いの流れを繰り返し行い，見通しをもち，次の活動につなげることができる。	協働して課題解決する 友達と協力して話合い，チームに必要な課題の解決を行おうとしている。 ・チームごとに自分たちに必要な攻め方，守り方を考え話し合う場を設ける。 ・自分たちのめあてを基に練習の方法を工夫する。また，授業の最後にはそれぞれのチームが何のためにどんな練習を行っていたのかの交流を行う。	知識・技能を習得する 話し合ったことを基に，めあての解決をしようとしている。 ・チームで決めた練習を行い，自分たちのめあてを解決しようとしている。 ・ゲーム，話合いの流れを繰り返し行い，練習内容を深く理解し，技術の習得を図る。 知識・技能を活用する 学んだことを生かし，攻め方，守り方の方法を増やそうとしている。 ・練習したり，友達の考え方を聞いたりして，攻め方，守り方の方法を増やそうとしている。